

3月 定例会

平成18年度予算 一般・特別会計

総額299億円可決!

【総務常任委員会】
(1) 市民の信頼感が得られるよう、適切な接遇と迅速なる対応による「さわやか行政サービス」を推進し、職員等の資質向上のため研修等の積極的な実施を要望する。
(2) 市が借り上げている土地等について、早急に使用状況の把握を行い、今後の方針についての検討を要望する。
(3) 情報化社会に対応すべく、情報の共有化の推進並びに江田島市ホームページの充実を要望する。

【文教厚生常任委員会】
(1) 統廃合された学校跡地の利用等については、地域を含め十分な協議を行い、効果的な方策を要望する。
(2) 保育園等の統廃合については、検討委員会を早急に設置し、検討するよう要望する。
(3) 国民健康保険税等の滞納対策については、職員の英知と総力を挙げて徴収に努めるよう要望する。

【産業建設常任委員会】
(1) 農業の振興について
(2) 市民一人あたりの貯金は約174,408円
(3) 国民健康保険税等の滞納対策については、職員の英知と総力を挙げて徴収に努めるよう要望する。

主な付帯意見

可決

賛成24

反対1

各常任委員会予算審議

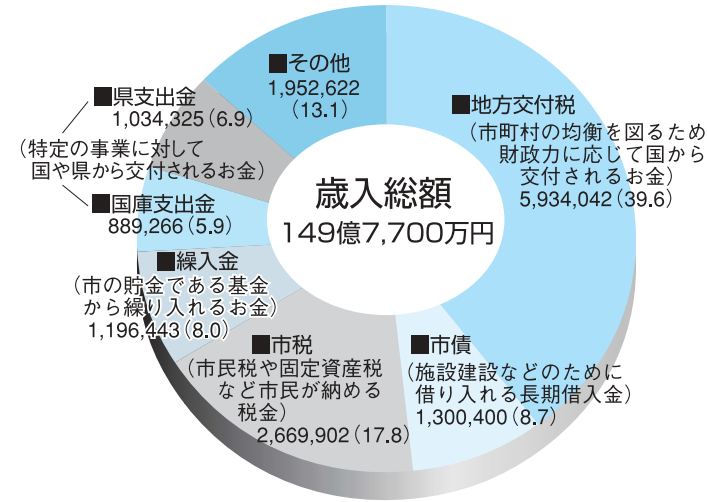
予算審査特別委員会に付託された平成18年度予算は、8日から16日まで、所管の常任委員会に分割し、細部にわたり審議を行いました。各委員会の付帯意見は、左記のとおりです。

(4) 市の各施設の維持管理については、一層の経費削減に努めるとともに、今後の運営方針について検討を要望する。
(5) 救急車の運用については、関係各機関と十分協議を行い、今後の適正運用等の対応を要望する。

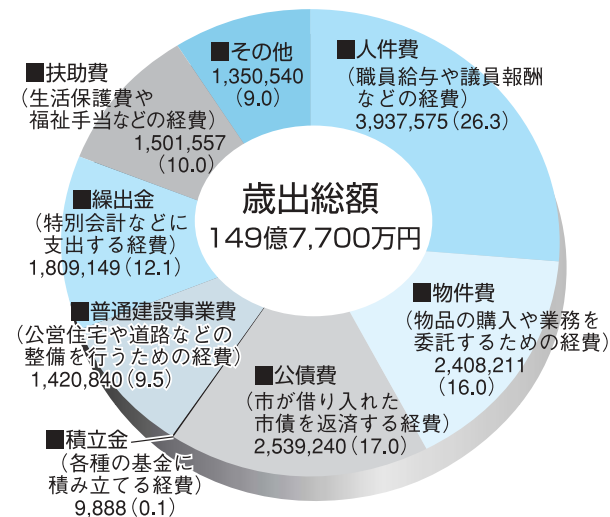
は、担い手の確保や認定農業者を増やす施策はもとより、安全・安心な地場野菜を生産するための中小規模農家の育成、団塊世代対策、遊休農地解消の施策検討を要望する。

一般会計予算

■ 入ってくるお金 [単位：千円 (%) ]



■ お金の使いみち [単位：千円 (%) ]



平成18年第2回定例会は、3月6日に招集され、30日までの25日間の会期で開かれました。平成18年度一般会計及び特別会計予算をはじめ出張所及び連絡所(統廃合)条例・一般職の給与に関する条例・学校施設使用条例・市総合計画基本構想・市介護保険条例など60の議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。
また、請願2件(不採択)、議員発議1件(可決)がありました。一般質問では12人の議員が当面する行政課題等についてただし、閉会しました。

3月定例会に提案された平成18年度当初予算は、市長の施政方針説明が行われた後、予算審査特別委員会に付託され、3つの常任委員会で予算細部にわたる慎重な審議を経た後、27日の本会議で上

田予算審査特別委員長からその結果が報告され、賛成多数で可決されました。平成18年度は「江田島市総合計画」のスタートの年であり、基本計画を策定するため、次の2点

Summary of budget figures:
一般会計 149億770万円
特別会計 149億400万円減
8億2200万円増

第一「健全な財政基盤の確立」
人件費等の行政経費の縮減、1市4制度の解消、市債の抑制、歳入の確保等、強い決意のもと行政改革を進める。結果「超緊縮予算」となりましたが、将来に向けての投資余力を確保し、総合計画の施策を着実に実施するべく活力を生み出します。
第二「将来に向かって希望の種を蒔く予算」
県からの事務移譲を受け「選択と集中」を行い、次世代育成対策・観光・港湾整備に最大限努めました。
以上のことから、平成17年度に比べ36億4千万円、19.6%減の予算となりました。

市民一人あたりの貯金・借金
市民一人あたりの借金は約760,649円
市民一人あたりの貯金は約174,408円
参考
●平成17年度末の見込み(一般会計)
市の貯金 5,254,201千円
市の借金 22,915,325千円
●平成18年3月末の人口 30,126人

平成18年度 一般会計予算 149億7,700万円

